

PHILIPS

HearLink

Receiver
in-the-Ear
Hearing Aids

miniRITE T



Made for

 **iPhone** | iPad | iPod

ユーザーガイド

製品について

本書は、以下補聴器のファミリー製品とモデルに対応します:

補聴器専門スタッフが記入します。

- ☐ HearLink 9010 MNR T – HL 9010 MNR T (HER9011)
- ☐ HearLink 7010 MNR T – HL 7010 MNR T (HER7011)
- ☐ HearLink 5010 MNR T – HL 5010 MNR T (HER5011)
- ☐ HearLink 3000 MNR T – HL 3000 MNR T (HER3001)
- ☐ HearLink 2000 MNR T – HL 2000 MNR T (HER2001)

NFMIと2.4 GHz無線通信機能を搭載しています。

上記ファミリー製品はそれぞれ下記のスピーカーに対応します:

- ☐ 60スピーカー
- ☐ 85スピーカー
- ☐ 100スピーカー(パワー型)
- ☐ パワーモールド付スピーカー100(パワー型)
- ☐ パワーモールド付スピーカー105(パワー型)

お買い上げ補聴器の設定

補聴器設定の概要				
左			右	
☐ はい	☐ いいえ	音量調節	☐ はい	☐ いいえ
☐ はい	☐ いいえ	プログラム切り替え	☐ はい	☐ いいえ
☐ はい	☐ いいえ	消音(ミュート)	☐ はい	☐ いいえ
音量調節インジケーター				
☐ オン	☐ オフ	最小 / 最大音量での通知音	☐ オン	☐ オフ
☐ オン	☐ オフ	音量変更時の通知音	☐ オン	☐ オフ
☐ オン	☐ オフ	適正音量での通知音	☐ オン	☐ オフ
電池残量インジケーター				
☐ オン	☐ オフ	電池切れ警告	☐ オン	☐ オフ

製品保証書

お名前:	
販売店名:	
販売店住所:	
販売店電話番号:	
お買い上げ年月日:	
保証期間:	年
機種名(右):	製造番号:
機種名(左):	製造番号:

国際保証

本製品はメーカー国際保証の対象となる製品です。当該制限付き保証では電池やチューブ、スピーカー、イヤピース、フィルターといったアクセサリパーツを除く製品本体の材質と製造上の欠陥が対象となります。お客様の誤った使用・過失・改造、腐食につながる状態にさらす等による故障および損傷に対しての修理、耳の状態変化、異物の混入による損傷に対しては、保証期間内であっても保証適用外となり修理をお断りする場合がございます。当該規定は弊社の国際保証規定により修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。販売店によってはこの制限付き保証書の条項を越えた保証を提供する場合があります。詳しくは販売店までお問い合わせください。

日本国外において調整サービスを必要とする場合

補聴器販売店また補聴器販売に関わる専門家のもとに、補聴器をお持ちください。補聴器の軽微な修理サービスや調整を、多くの場合その場で受けることが可能です。

本書について

本書では補聴器の使用方法やお手入れの方法、取り扱い方法を説明しています。補聴器の機能を最大限に活用いただくためにも『注意事項』の項目を含めて、本書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

この補聴器は、販売店担当者によってお客様の聴力や使用方法に合わせて設定されております。ご質問またご不明の点については、お買い上げの補聴器販売店担当者へお問い合わせください。

詳細につきましては下記も参照ください。
www.hearingsolutions.philips.com

補聴器の仕様について

この補聴器は、音を増幅して耳に伝えることにより、軽度から高重度の難聴を補います。この補聴器は成人及び生後36か月以上の子ども向けです。

重要なお知らせ

補聴器は、補聴器の専門家、また補聴器販売に関わる専門スタッフによってお客様の聴力及び個別の条件にあわせたフィッティング（補聴器の調整過程）によって調整及び最適化を行う管理医療機器です。

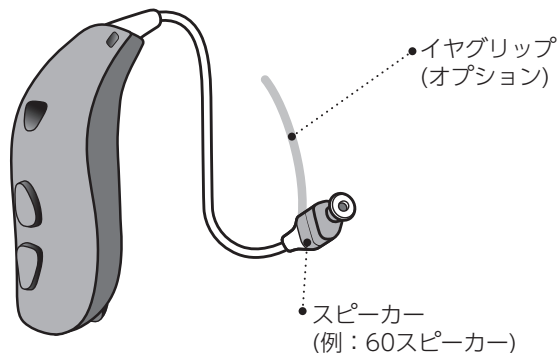
目次

補聴器本体と対応するスピーカー及びイヤピース	12
補聴器各部名称	14
補聴器各部役割	15
補聴器の左右表示	16
電池(サイズ 312)	17
電池交換とお手入れのためのマルチツール	18
補聴器電源のオン/オフ	19
電池交換のタイミング	20
電池の交換	21
補聴器の装着のしかた	23
補聴器のお手入れ	24
標準的なイヤピース:ドーム、グリップチップ	26
標準的なイヤピースの交換	27
ミニフィットプロワックス	28
ミニフィットプロワックスの交換	29
オーダーメイドイヤピース:マイクロモールド、ライトチップ、パワーモールド	30

オーダーメイドイヤピースのお手入れ	31
プロワックスフィルターの交換	32
機内モード	33
オプション機能とアクセサリー	34
音量調節(オプション)	35
プログラムの切り替え(オプション)	36
消音(オプション)	38
クイックリセット	39
iPhone及びiPad、iPod touchに接続した使用	40
iPhoneとのペアリング	41
iPhone及びiPad、iPod touchとの再接続	44
Philips HearLinkアプリ	45
ワイヤレス アクセサリー(オプション)	47
その他オプション	48
注意事項	49
トラブルシューティングガイド	56
防塵・防水対応について	58
使用環境	59

技術情報	60
性能一覧表	64

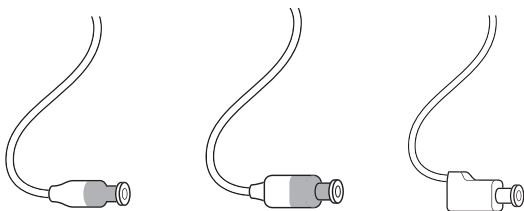
補聴器本体と 対応するスピーカー及びイヤピース



スピーカー

ミニRITE Tは下記のスピーカーのいずれか1つを装着して使用します:

☐ 60スピーカー ☐ 85スピーカー ☐ 100スピーカー



イヤピース

スピーカーには以下のいずれかを使用します:



☐ ドーム (例: オープンドーム)*



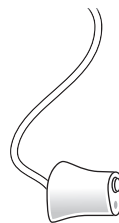
☐ グリップチップ*



☐ マイクロモールドまたはライトチップ

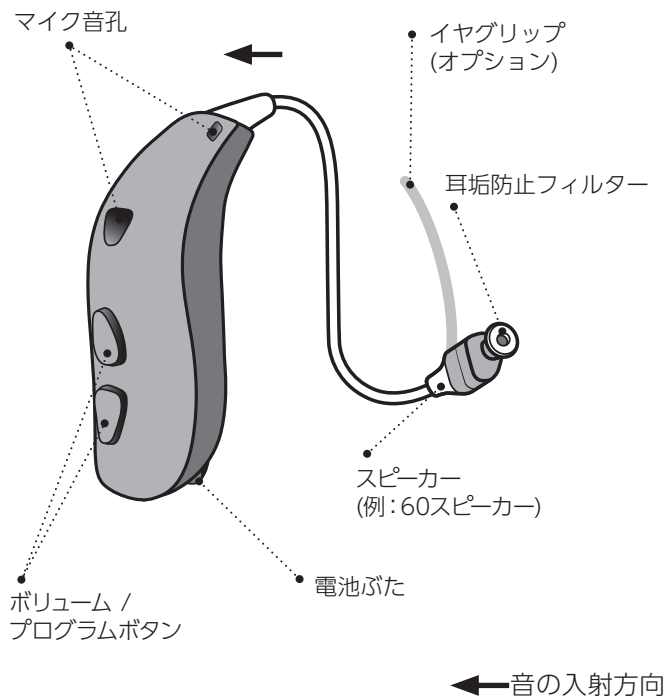
パワーモールド付スピーカー

☐ 100スピーカー
☐ 105スピーカー

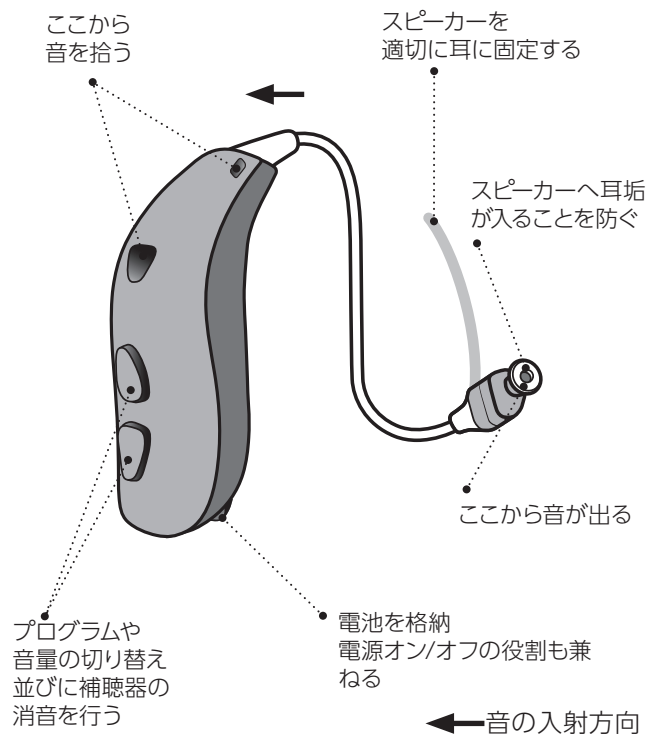


* ドーム又はグリップチップの交換については「標準的なイヤピースの交換」を参照ください。

補聴器各部名称



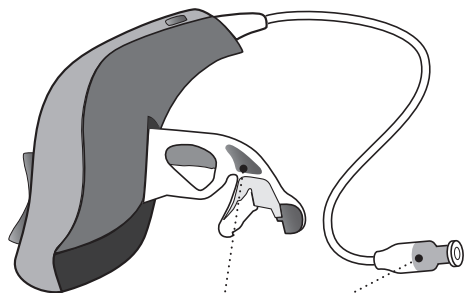
補聴器各部役割



補聴器の左右表示

補聴器は、左右の耳で設定が異なることもあり補聴器の左右をきちんと見分けることが大切です。

右耳用と左耳用を見分けるために補聴器本体の電池ぶた上に左右表示がついています。さらに、60及び85スピーカーについてはスピーカー本体上、また100スピーカー及びいくつかのイヤピースでも左右表示を確認いただけます。



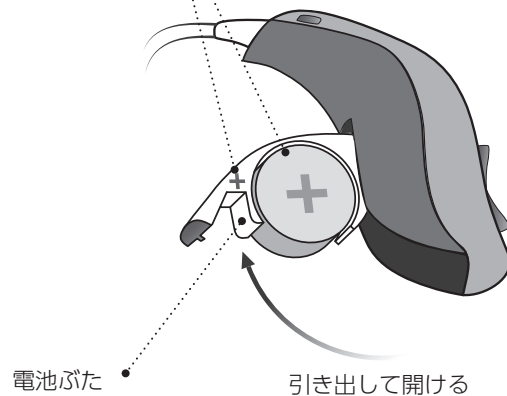
赤の印は補聴器が
右耳用であることを示す

青の印は補聴器が
左耳用であることを示す

電池(サイズ 312)

補聴器は、補聴器用の電池で動作する小型精密器機です。初めて補聴器の電源を入れる際には、新しい電池を電池ぶた内に入れてください。「電池の交換」の項目を併せて参照ください。

電池の+(プラス)側が
上になっていることを
確認

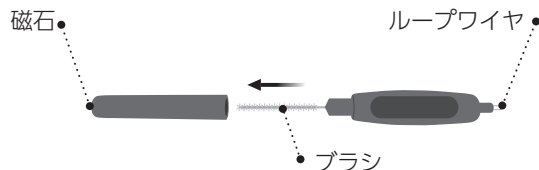


電池ぶた

引き出して開ける

電池交換とお手入れのための マルチツール

マルチツールの磁石を活用いただくことで、お使いの補聴器の電池をより簡単に交換できます。ブラシとループワイヤが内蔵されており、補聴器の耳垢の掃除にお使いいただけます。マルチツールは補聴器販売店で購入いただくことが可能です。



重要なお知らせ

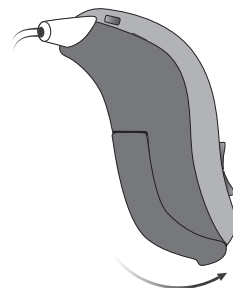
マルチツールは磁石を内蔵しています。クレジットカードや磁石の影響を受ける恐れがある機器類からは最低30cm離して保管してください。

補聴器電源のオン / オフ

電池ぶたは、補聴器のオン/オフとして機能します。電池を長持ちさせるために、補聴器を装着していないときは、電池ぶたを開け電源をオフにしてください。

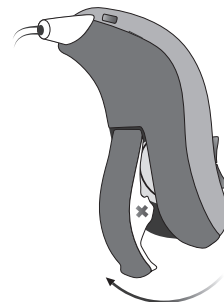
電源オン

電池を入れてカチッと鳴るまで電池ぶたをしっかりと閉める。



電源オフ

電池ぶたを開ける。



電池交換のタイミング

電池交換のタイミングになると、電池が完全になくなるまで電池容量低下警告(3回)のビープ音が一定間隔で繰り返し鳴り続けます。



電池容量低下警告(3回)*
電池残量が
少なくなっています



電池交換警告(4回)
電池残量が
完全になくなっています

補聴器と電池に関するヒント

補聴器が必要なときにいつでも機能するように、外出時などには予備の電池を携帯いただくか、またはお出かけ前に電池を新しいものに交換してください。

* Bluetooth®接続が切れるため、ワイヤレス アクセサリーは使用できなくなります。

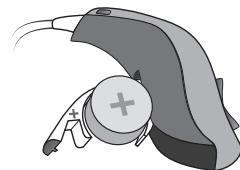
Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Demant Holding A/Sはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

補聴器で音声または音楽をストリーミングする場合、電池をより頻繁に交換する必要があります。

電池の交換

1. 古い電池を取り出す

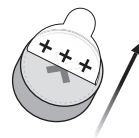
電池ぶたを完全に開けてから、古い電池を取り出します。



2. 新しい電池の保護シールをはがす

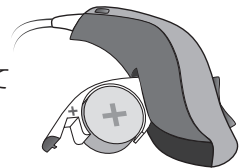
新しい電池の+ (プラス) 側に貼られている保護シールをはがします。

ヒント：電池を十分に反応させるために、2分ほど吸気させてください。



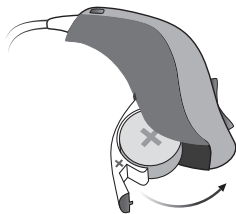
3. 新しい電池を入れる

新しい電池をセットします。
電池の+ (プラス) 側が上になっていることを確認してください。



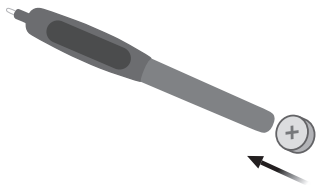
4. 電池ぶたを閉める

電池ぶたをしっかり閉めると電源が入ります。電池ぶたを閉めるとイヤピースを通じてメロディ音が聞こえます。イヤピースを耳に近づけ、メロディ音を確認してください。



ヒント

マルチツールを電池交換時に活用いただくことができます。磁石のついた側を利用して、電池の出し入れを行うことができます。マルチツールは補聴器販売店で購入いただけます。



補聴器の装着のしかた

スピーカーは音を耳に届けます。スピーカーは必ずイヤピースを取り付けてご使用ください。また、必ずお使いの補聴器に合ったイヤピースをご使用ください。

補聴器にイヤグリップがついている場合には耳の溝に入れてください。(ステップ3参照)

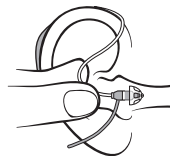
ステップ 1

補聴器本体を耳の後ろにかけます。



ステップ 2

スピーカーワイヤーの曲がっている部分を親指と人差し指で持ちます。イヤピースは耳の穴に対して正面になるように向けてください。



ステップ 3

スピーカーのワイヤーが耳の付け根に沿うように、イヤピースをゆっくり耳の中に押し入れてください。

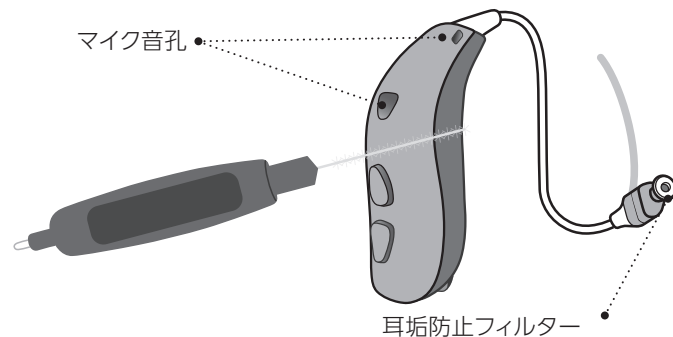


補聴器のお手入れ

補聴器を取り扱う際には、落として壊してしまわないように椅子に座るなどして、表面のやわらかいものの上で行ってください。

マイク音孔のお手入れ

マイク音孔のゴミや汚れを掃除道具(マルチツール)のブラシを使用し、そっと取り除いてください。ブラシは表面の掃除だけに利用し、奥まで差し込まないよう気をつけてください。



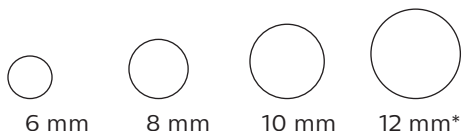
重要なお知らせ

補聴器のお手入れには、付属の布または、やわらかく乾いた布をご使用ください。補聴器本体を絶対に水や液体で洗ったり、浸したりしないでください。

標準的なイヤピース: ドーム、グリップチップ

ドームとグリップチップは医療用の柔らかいゴム素材で作られています。ドームには4つのタイプがあります。お客様のイヤピースのタイプとサイズをご確認ください。

-  オープンドーム
-  パワードーム
-  ベースドーム、シングルベント
-  ベースドーム、ダブルベント
-  グリップチップ(サイズ(S/L)、左用/右用、ベントの有/無が選べます)



* オープンドームに当該サイズの用意はありません。

重要なお知らせ

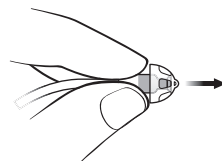
補聴器を外した際にスピーカーにドーム類がついていない場合は、外耳道にドームが残っている場合があります。対処については、耳鼻科医または補聴器販売店へご相談ください。

標準的なイヤピースの交換

標準的なイヤピース(ドームやグリップチップ)は洗浄しないでください。イヤピースに耳垢が詰まった際には、新しいものに交換してください。グリップチップの交換時期の目安は一カ月に一度です。

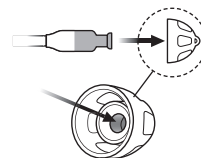
ステップ 1

スピーカーを持ちながらイヤピースを外してください。



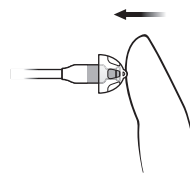
ステップ 2

新しいイヤピースをスピーカーユニットにしっかりと押し込んでください。



ステップ 3

イヤピースが落ちないように必ずしっかりと奥まで押し込んでください。



ミニフィットプロワックス

スピーカーにはイヤピース側の端に白い耳垢防止フィルターが付属しています。耳垢防止フィルターはスピーカーを耳垢やごみによる損傷から保護します。フィルターが詰まったら、耳垢防止フィルターを交換するか(「ミニフィットプロワックスの交換」を参照ください)、またはお求めの販売店にお尋ねください。

スピーカーからイヤピースを取り外した上で、耳垢防止フィルターを交換してください。

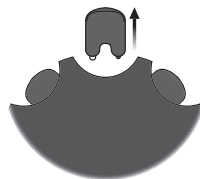
重要なお知らせ

お買い上げ時に付属していた耳垢防止フィルターと同じタイプをご使用ください。耳垢防止フィルターの使用または交換についてのお問い合わせはお求めの販売店にお問い合わせください。

ミニフィットプロワックスの交換

1. ツールを取り外す

ケースからツール部分を外します。ツール部分には2種類のピンがあり、古いフィルターを取り外すための空のピンと交換用フィルターの取り付けられているピンがあります。



2. 古いフィルターの取り外し

空のピンをスピーカーに取り付けられている古いフィルターに差し込み、引き抜きます。



3. 新しいフィルターの挿入

新しいフィルターが付いている側のピンを挿入し、新しいフィルターを装着してください。装着後ツールを引き抜きます。



4. 交換の完了

スピーカーが右図のように見れば、ミニフィットプロワックスの交換は完了です。



モールドを使用される場合、お求めの販売店にお尋ねください。

オーダーメイドイヤピース： マイクロモールド、ライトチップ、 パワーモールド

モールドには3つの種類があります：マイクロモールド、ライトチップ並びに、パワーモールドはそれぞれ、お客様の耳に合わせてオーダーメイドで作成します。

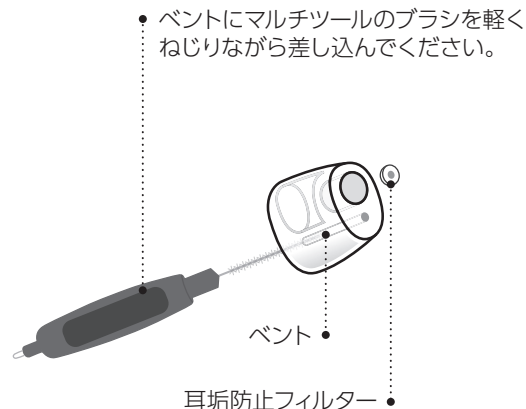


オーダーメイドイヤピースは音孔に白色の耳垢防止フィルターが付いています。これらのイヤピースにはプロワックスフィルターが使われます。プロワックスフィルターの交換については、「プロワックスフィルターの交換」を参照ください。

オーダーメイドイヤピースの お手入れ

イヤピースは定期的にお手入れしてください。フィルターがつまっているとき、また補聴器の音がおかしいときはイヤピース用の耳垢防止フィルターを交換してください。

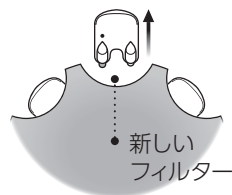
耳垢防止フィルターは販売店でご相談の上、ご購入ください。



プロックスフィルターの交換

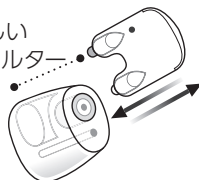
1. ツールを取り外す

ケースからツール部分を外します。ツール部分には2種類のピンがあり、古いフィルターを取り外すための空のピンと交換用フィルターの取り付けられているピンがあります。



2. 古いフィルターの取り外し

空のピンをモールドに取り付け、新しいフィルターを古いフィルターに差し込み、引き抜きます。



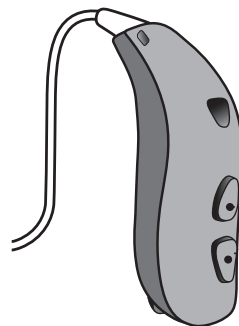
3. 新しいフィルターの挿入

新しいフィルターが付いている側のピンを挿入し、新しいフィルターを装着してください。装着後ツールを引き抜きます。



機内モード

飛行機搭乗中など無線信号の発生が禁止されている場所に入る場合は、機内モードにしなければなりません。その場合も補聴器は稼働状態です。片方の補聴器を操作すると両方の補聴器が機内モードになります。



● 機内モードのオン・オフ
どちらかのプログラムボタンを7秒間押し続けてください。確認音が鳴ります。

電池ぶたを一旦開け閉めすることにより機内モードをオフにすることができます。詳しくは「クイックリセット」を参照ください。

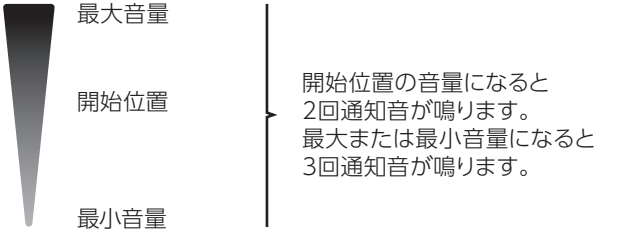
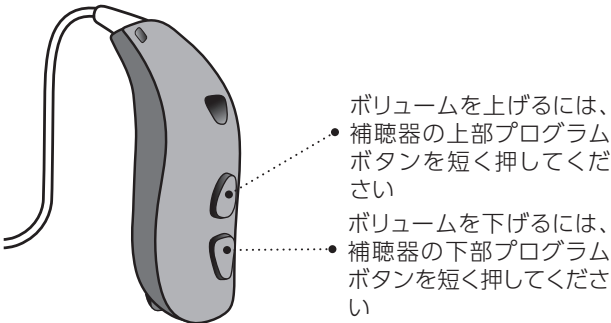
オプション機能とアクセサリ

本ページ以降に記載されている機能並びに、アクセサリ類はオプションとなります。補聴器のプログラム設定については、お買い上げ販売店にお尋ねください。聞き取りが難しい場面を経験された場合には、目的別プログラムの設定が効果的な場合もあります。これらの設定は補聴器専門スタッフによって調整されます。

サポートが必要と感じた聞こえの環境があれば記入してください。

□ 音量調節(オプション)

ボリューム/プログラムボタンを操作することで補聴器の音量を変更することが出来ます。音量を上下させると、ピッという音が鳴ります。



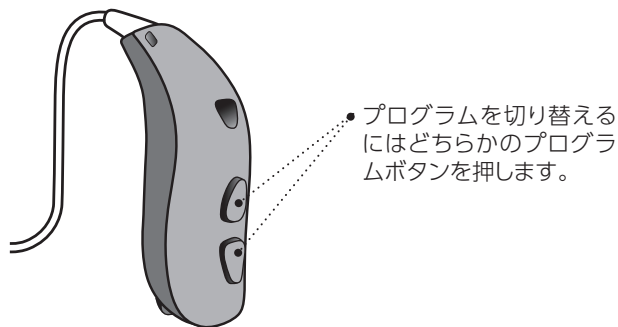
音量調節

□ 左	□ 右	
-----	-----	--

この欄は補聴器専門スタッフが記入します。

□ プログラムの切り替え (オプション)

お買い上げの補聴器は4つまでのプログラムを設定できます。プログラムの設定は補聴器専門スタッフがを行います。



プログラムを切り替えるには補聴器の上下のプログラムボタンを操作します。上部プログラムボタンを押すとプログラムが昇順に(例:プログラム1→プログラム2)、下部プログラムボタンを押すとプログラムが降順に進みます(例:プログラム4→プログラム3)。

この欄は補聴器専門スタッフが記入します。

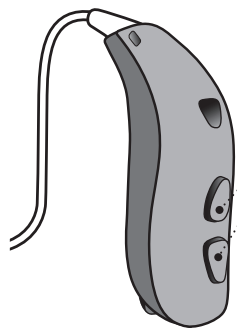
プログラム	鳴動する通知音	機能
1		「ビープ音1回」
2		「ビープ音2回」
3		「ビープ音3回」
4		「ビープ音4回」

プログラム切り替え:

☐ 左	☐ 右	☐ 短く押す	☐ 長押し
----------------------------	----------------------------	-------------------------------	------------------------------

□ 消音(オプション)

補聴器を装用した状態で音が出ないように設定したい時に、この機能を使用してください。



- 消音機能をオンにするには、プログラムボタンのどちらかを4秒以上長押しします。

再び補聴器マイクを作動させるには、プログラムボタンを短く押してください。

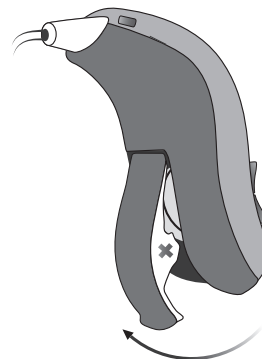
重要なお知らせ

消音機能を電源スイッチとして使用しないでください。消音モードでは、音が出ていなくても電池は消耗します。

クイックリセット

補聴器専門スタッフによってあらかじめ設定された設定に戻すには、電池ぶたを一度、開け閉めしてください。設定のリセットが行われ、起動メロディ音が聞こえます。

電池ぶたを開ける



電池ぶたを閉める



iPhone及びiPad、iPod touchに 接続した使用

お買い上げの補聴器はMade for iPhone®であり、iPhone®、iPad®またはiPod® touchとワイヤレス通信で接続します。

補聴器とアップル社製品とのペアリングのサポートに関しましては、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、下記サイトを参照ください：

www.hearingsolutions.philips.com

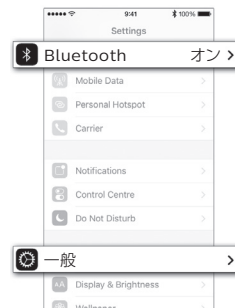
互換性についての情報は下記を参照ください：

www.hearingsolutions.philips.com/compatibility

Philips オーディオクリップを中継してAndroid™機器からの音声ストリーミングが可能です。

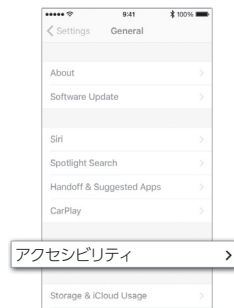
iPhoneとのペアリング

1. 設定



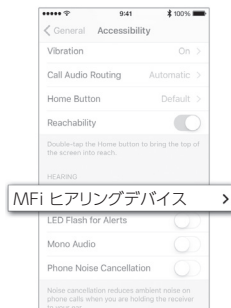
iPhoneの「設定」画面からBluetooth®をオンにしてください。
続けて「一般」画面に進んでください。

2. 一般



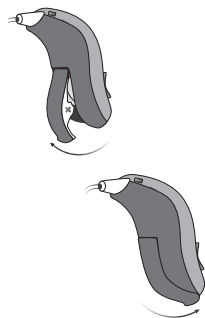
「一般」画面から「アクセシビリティ」を選択してください。

3. アクセシビリティ



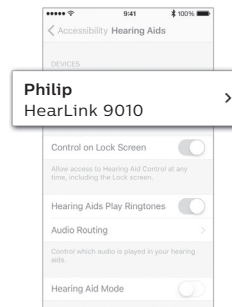
「アクセシビリティ」画面より「MFiヒアリングデバイス」を選択してください。

4. 補聴器の準備



補聴器の電池がたを一度、開け閉めしてください。左右で補聴器をお使いの場合は、それぞれについて開閉し、iPhoneの近くに置いて下さい。補聴器は3分間ペアリングモードになります。

5. 選択



iPhoneは補聴器のペアリングを行います。iPhoneの補聴器選択画面にご自身の補聴器が反映されているか確認して、選択してください。

6. ペアリングの確認



ペアリングを確認します。左右で補聴器をお使いの場合には、両方の補聴器についてペアリングが確立しているか、確認する必要があります。

iPhone及びiPad、iPod touchとの再接続

補聴器の電源オフにするか、iPhone又はiPad、iPod touchの電源をオフにすると、接続は遮断されます。再接続するには、iPhone又はiPad、iPod touchの電源をオンにした状態で、補聴器の電池ぶたを一度開け閉めしてください。補聴器は自動的に機器と再接続します。

“Made for iPod”、“Made for iPhone”、“Made for iPad”とは、電子アクセサリーがApple社製品への接続専用に設計された製品でありApple社の性能基準に適合していることをデベロッパが認定済みです。Apple社はこの補聴器の動作及び安全性・規制基準の適合に関する責任はありません。iPod、iPhone、またはiPadと当該製品を使用すると、ワイヤレス性能に影響が生じることにご注意ください。

Philips HearLinkアプリ

iPhone、iPad、iPod touch及びAndroid機器向けPhilips HearLinkアプリで、直感的で目立たずにお手元で補聴器の操作ができます。また、Philips HearLinkアプリは、インターネット経由のIFTTTを使用して、幅広い種類の機器と接続・コントロールが可能になります。

互換性についての情報は下記を参照ください。
www.hearingsolutions.philips.com

Philips HearLinkアプリはApple App Store® 及びGoogle Play™からダウンロードできます。Philips HearLinkアプリをiPadにダウンロードする際は、Apple App Store®のiPhone用アプリから検索ください。

Philips オーディオクリップを中継してAndroid™機器からの音声ストリーミングが可能です。

ワイヤレス アクセサリー (オプション)

お買い上げの補聴器には、ワイヤレス機能が搭載されており、ワイヤレスでさまざまな外部機器と接続することができます。日常生活の多くの場面でよりよい聞き取りやコミュニケーションをサポートします。

□ オーディオクリップ

携帯電話とペアリングして、補聴器をハンズフリーヘッドセットとして使用することができます。また、リモートマイクやリモートコントロールとしても使用できます。

□ TVアダプター

テレビアダプターはテレビやその他オーディオ機器の音声を補聴器に直接届けます。

□ リモートコントロール

補聴器のプログラム切り替えと音量調節、消音を行うことができます。

□ Philips HearLinkアプリ

補聴器の音量調節やプログラム変更を、目立たずにお手元で操作できます。iPhone、iPad、iPod touch、Android スマートフォンに対応しています。

詳細な情報はお求めの補聴器販売店にお問い合わせ頂
くか、下記を参照ください。

www.hearingsolutions.philips.com



詳細は下記を参照ください:

www.hearingsolutions.philips.com

Apple、Appleのロゴ、iPhone、iPad、iPod touch、Apple Watchは、米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。Android、Google Play、Google Playのロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。

その他オプション

□ オートフォン

受話器に取付けられたオートフォン用の磁石を検知すると、自動的にオートフォン機能が作動し、電話プログラムに切り替わります。オートフォンを作動させるには、受話器近くにオートフォン用の磁石を取り付ける必要があります。



□ テレコイル

テレコイル対応電話や、ループシステムを採用した建物(映画館、教会、講堂など)で聞き取りをサポートします。右図マーク又は類似のマークのある場所ではテレコイルが採用されています。



⚠ 注意事項

補聴器を正しくかつ安全にお使いいただくために、補聴器をお使いになる前に本取り扱い説明書の注意事項を正しくご理解ください。

補聴器は以前の聞こえに戻すものではなく、器質性疾患による聴力低下を防いだり治したりすることはできません。そして、補聴器のメリットを最大限ご体感頂くために、日常的に装用してください。

補聴器に関して予期しない動作や事象が発生した場合には、お求めの補聴器販売店へご相談ください。

補聴器の使用について

- ・ 販売店において調整された補聴器を指示通りにお使いください。間違った使用方法によって、急性または恒常的な聴力低下の原因になる場合があります。
- ・ ご自身の補聴器は絶対に他の人に使用させないでください。間違った使用は聴力を恒久的に傷める原因となることがあります。

詳細な情報はお求めの補聴器販売店にお問い合わせください。

補聴器部品・電池の誤飲と窒息の危険性について

- ・ 補聴器やその部品、電池は、事故につながる可能性があります。幼児やあやまってこれらを飲み込む危険性のある人の手の届かない場所へ置いてください。
- ・ 特に、薬を飲むときに、電池を錠剤と間違えることがありますので、十分ご注意ください。
- ・ ほとんどの補聴器は、利用される方の要望にお応えして、いたずら防止用固定式電池ぶたを取り付けることができます。乳幼児をはじめ、あやまって電池を飲み込む危険のある人には強くお勧めします。
- ・ 乳幼児(特に36ヶ月以下のお子様)では固定式電池ぶたを使用してください。お買い上げ頂いた補聴器に装着できるかは、補聴器販売店にお問い合わせください。

誤って電池や補聴器を飲み込んだ場合には、直ちに医療機関を受診してください。

⚠ 注意事項

電池使用

- ・ 電池は販売店推奨のものをお使いください。品質の悪い電池は、液漏れによる故障や身体を損傷する事故を引き起こす恐れがあります。
- ・ 電池の充電を行わないでください。また電池を火中に投じないでください。破裂などによってけがの原因になる危険性があります。

機能停止の可能性

- ・ 補聴器は警告音なしに機能を停止する可能性があります。警告音で動作状況を判断している場合には特に留意ください(例:交通量のある道路沿いなど)。電池切れ、チューブなどへの水分の付着や耳垢などによって補聴器の機能が停止する可能性もあります。

体内埋め込み型(能動型)機器に関して

- ・ 体内埋め込み型機器を使用されている方は一層の注意が必要です。ペースメーカーや除細動器のメーカーが推奨している、携帯電話・磁石の使用に関するガイドラインに従っていただくことをお勧めします。

- ・埋め込み型機器にオートフォン用磁石や磁石が内蔵されているマルチツールを30cm以上近づけないでください。(例:胸ポケットなどに入れて持ち歩かない等)
- ・脳への埋め込み機器をご使用の場合には、埋め込み型機器のメーカーに干渉の危険性についてお問い合わせください。

レントゲンやCT、MRI、PETなどの検査や電気療法

- ・レントゲンやCT、MRI、PETなどの検査、または電気療法や手術などの前には、補聴器をはずしてください。補聴器が強い磁場にさらされることで故障することがあります。

高温や化学薬品等

- ・補聴器を極端に高温の場所にさらさないでください(例:炎天下の車内など)。
- ・補聴器を乾燥させるために電子レンジやその他オーブンなどに入れないでください。
- ・補聴器を装用したまま、化粧品、ヘアスプレー、香水、アフターシェービングローション、日焼け用ローション、虫除けスプレーなどの化学製品を使用しないでください。使用する場合には補聴器を外し、それらが完全に乾いてから補聴器を使用してください。

⚠ 注意事項

パワー型補聴器の取扱い

- ・最大出力が132dB SPL (IEC711)を超える補聴器に関しては、大きな音が出ますので、取り扱いに十分にご注意ください。聴力に合わせた適切な器種の選択や調整が行われていないと、聴力の低下を招く恐れがあります。

お使いの補聴器がパワー型補聴器かどうかについてはお求めの販売店にお問い合わせください。

起こりうる副作用

- ・補聴器、モールドやドームを使い始めると耳垢が出やすくなることがあります。
- ・お買い上げの補聴器はアレルギー誘発性物質を排除していますが、まれに耳の中にかゆみを生じたりや通常とは異なる状態が発生する可能性もあります。

耳に何らかの異常を感じた場合は、耳鼻科をはじめとする医療機関を受診してください。

干渉

- ・この補聴器は、最も厳しい国際基準に従って電磁波干渉について徹底的に品質検査が行われています。しかし、携帯電話、店舗などの警報システム、短距離通信用無線などの付近で、それらとの電磁波干渉により、補聴器に雑音が発生する場合があります。この現象が起きた場合には、それらの製品・設備から離れてください。

航空機内での使用

- ・お使いの補聴器はBluetooth®を通信機能を搭載しています。許可のない限り、機内では機内モードをオンにしてください。

外部機器との接続

- ・本製品と、外部電源につなげた機器との接続の安全性は、接続された外部信号の影響を受けます。本製品に外部電源をつなげた状態で接続する機器は、IEC-62368(2019年6月20日まではIEC-60065とIEC-60950)または同等の規格に適合している必要があります。

トラブルシューティングガイド

症状	可能性のある原因
音が出ない	電池残量がなくなっている
	イヤピースの音の出口が詰まっている(ドーム類、グリップチップ、マイクロモールド)
プツプツ音がする、音が弱い	音の出口が詰まっている
	湿気
	電池残量がなくなっている
ピーピー音がする	イヤピースがきちんと耳に入っていない
	耳の中に耳垢が詰まっている
ビープ(警告)音が聞こえる	補聴器から連続した(8回)ビープ音が、4度にわたって聞こえた場合には、補聴器のアンプユニットのチェックが必要です
Apple社機器とのペアリングの問題について	Bluetooth®の接続が失敗した
	片方の補聴器のみペアリングがされている

対策
新しい電池に取り替える
イヤモールドを掃除する
耳垢防止フィルター、ドームまたはグリップチップを交換する
耳垢防止フィルター、ドームまたはグリップチップを掃除する
電池を乾いた布で拭く
新しい電池に取り替える
イヤピースを入れ直す
耳鼻科医を受診する
お求めの販売店へ連絡をする
- 補聴器とのペアリングを解除する。 (設定→一般→アクセシビリティ→MFiヒアリングデバイス→デバイス→このデバイスの登録の解除) - Bluetooth®(ブルートゥース)設定をいったんオフにして再度オンにする。 - 補聴器の電池がたの閉閉を行う。 - 補聴器ペアリングの再設定を行う (「iPhoneとのペアリング」の項を参照ください)。

以上で解決しない場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。

防塵・防水対応について

お買い上げいただいた補聴器は日常防水対応(IP68)の補聴器です。当該補聴器は防水・防塵の指標となる国際規格を取得しておりますが、完全防水ではありません。補聴器が水に濡れたり、過度の湿気にさらされるなどして動作しなくなった場合は、次の手順に従ってください。

1. 補聴器の外側についた水分をそっとふき取ってください。
2. 電池ぶたを開け、電池を取り除き電池室内部の水分を慎重にふき取ってください。
3. 補聴器の電池ぶたを開けたまま、補聴器を30分以上乾かしてください。
4. 新しい電池を入れてください。

重要なお知らせ

入浴時や水泳、シュノーケリング、ダイビングなどの水を使ったスポーツを行う際には補聴器を外してください。補聴器を水やその他の液体に浸すことはおやめください。

使用環境

使用環境条件

温度: +1℃ ~ +40℃
湿度: 5% ~ 93%RH
ただし結露しないこと

保管および 輸送条件

保管および輸送の際、温度と湿度は以下の範囲を超えないこと:

温度: -25℃ ~ +60℃
湿度: 5% ~ 93%RH
ただし結露しないこと

技術情報

当該補聴器には、下記の2つの無線送信機が搭載されています:

3.84MHzの短距離磁界誘導技術を使用した無線送信機を搭載しています。送信機の磁場の強さは非常に低く常に15nW(-40 dB μ A/m@10m)未満です。

ISMバンドである2.4GHz周波数帯を利用したBluetooth® Low Energy (BLE)及びプロプライエタリ短距離無線技術を使用した無線送信機も搭載しています。2.4GHz送信機の全放射電力でのEIRP (EIRP:実効等方放射電力)は低く、常に3.0mW(=4.8dBm)未満です。

当該補聴器は、電磁両立性と人体への曝露に関する国際的な規格に適合しています。

当該補聴器は大きさが限られているので、認可規格の表示は本書に示されています。

詳細な情報は、下記をご参照ください。
www.hearingsolutions.philips.com

USA and Canada

The hearing aid contains a radio module with the following certification ID numbers:

FCC ID: 2ACAH-AUMRTE

IC: 11936A-AUMRTE

メーカーは当該補聴器が2014/53/EU指令の基本要件及びその他の関連規定に準拠していることを宣言します。

当該補聴器に関する適合宣言は、メーカーより入手可能です。



SBO Hearing A/S

Kongebakken 9

DK-2765 Smørum

Denmark

www.hearingsolutions.philips.com

CE 0543



Waste from electronic equipment must be handled according to local regulations.

Bluetooth®



IP68

本ガイドおよびパッケージで使用される凡例

	注意事項 本記号の記された事項は、製品の使用前に必ずお読みください。
	メーカー 本製品メーカーの名称と住所は記号の横に記載されています。これは欧州指令90/385/EEC、93/42/EEC、98/79/ECに定義されている通りの医療機器メーカーであることを示します。
	CE mark 欧州指令EU Medical Devices Directive 93/42/EECを満たしています。4つの数字は審査機関を示します。
	Electronic waste (WEEE) Recycle your hearing aids, accessories or batteries according to local regulations or return them to your hearing care professional for disposal. Electronic equipment covered by Directive 2012/19/EU on waste and electrical equipment (WEEE). 本記号は、補聴器やその付属品、電池を通常と異なる廃棄物の処分が求められる可能性があることを示します。処分される際はお住いの自治体が定める方法に従ってください。
	Regulatory Compliance Mark (RCM) The product complies with electrical safety, EMC and radio spectrum requirements for products supplied to the Australian or New Zealand market.
	Made for iPod, iPhone, iPad デバイスがiPhone、iPad、iPod touchに対応していることを示します。 パッケージ・ラベルに使用されます。

	IPコード 本記号は有害な水や粒子分子の侵入に対する、EN 60529:1991/+A2:2013に準じた保護等級を示します。 IP6Xは完全な防塵保護を示します。 IPX8は継続して水に浸された場合の保護を示します。
	Bluetooth®のロゴ Bluetooth® SIG, Inc.の登録商標であり、これを使用するにはライセンスを要します。
	湿気厳禁 湿気から保護する必要のある医療機器を示します。
	注意 取扱説明書(ユーザーガイド)の警告・注意事項を御覧ください。
	カタログ番号 医療機器を識別するためのメーカーのカタログ番号を示します。
	シリアル番号 特定の医療機器を識別するためのメーカーのシリアル番号を示します。

REACH Declaration:

REACH requires Philips Hearing Solutions to provide chemical content information for Substances of Very High Concern (SVHC) if they are present above 0.1% of the article weight. No substances on the REACH SVHC list applicable at the time of manufacturing is present in Product HearLink. More recent information can be found on the website www.hearingsolutions.philips.com/REACH.

性能一覧表

HL 9010 miniRITE T

<イヤホン60(60スピーカー)>

使用電池の種類、形式、及び電圧	空気電池 PR41(312)1.4V
規 準 周 波 数	1600Hz
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値：101dB±4dBSPL ピーク値：105dB+3dBSPL 以下
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均：28dB±5dB ピーク値：34dB+3dB 以下
規準周波数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅：下限<200Hz,上限>5000Hz 規準利得：25dB
等価入力雑音レベル	19dB+3dB 以下
電 池 電 流	1.6mA 以下
全 高 調 波 歪	500Hz：<2%未満+3% 以下 800Hz：<2%未満+3% 以下 1600Hz：<2%未満+3% 以下
自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム：2ms 未満 ±5ms リリースタイム：30ms 未満 ±50%
誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	59dB±6dB
試験用ループに対 する等価感度 (ETLS)	0dB±4dB

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

HL 7010 miniRITE T, HL 5010 miniRITE T,

HL 3000miniRITE T, HL 2000 miniRITE T

<イヤホン60(60スピーカー)>

使用電池の種類、形式、及び電圧	空気電池 PR41(312)1.4V
規 準 周 波 数	1600Hz
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値：101dB±4dBSPL ピーク値：105dB+3dBSPL 以下
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均：28dB±5dB ピーク値：34dB+3dB 以下
規準周波数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅：下限<200Hz,上限>5000Hz 規準利得：24dB
等価入力雑音レベル	18dB+3dB 以下
電 池 電 流	1.6mA 以下
全 高 調 波 歪	500Hz：<2%未満+3% 以下 800Hz：<2%未満+3% 以下 1600Hz：<2%未満+3% 以下
自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム：2ms 未満 ±5ms リリースタイム：30ms 未満 ±50%
誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	59dB±6dB
試験用ループに対 する等価感度 (ETLS)	1dB±4dB

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

HL 9010 miniRITE T, HL 7010 miniRITE T,
HL 5010 miniRITE T, HL 3000miniRITE T,
HL 2000 miniRITE T<イヤホン85(85スピーカー)>

使用電池の種類、形式、及び電圧	空気電池 PR41(312)1.4V
規 準 周 波 数	1600Hz
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値：112dB±4dBSPL ピーク値：115dB+3dBSPL 以下
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均：46dB±5dB ピーク値：54dB+3dB 以下
規準周波数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅：下限<200Hz,上限>5000Hz 規準利得：34dB
等価入力雑音レベル	20dB+3dB 以下
電 池 電 流	1.7mA 以下
全 高 調 波 歪	500Hz：<2%未満+3% 以下 800Hz：<2%未満+3% 以下 1600Hz：<2%未満+3% 以下
自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム：2ms 未満 ±5ms リリースタイム：20ms 未満 ±50%
誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	77dB±6dB
試験用ループに対 する等価感度 (ETLS)	1dB±4dB

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

HL 9010 miniRITE T, HL 7010 miniRITE T,
HL 5010 miniRITE T, HL 3000miniRITE T,
HL 2000 miniRITE T<イヤホン100(100スピーカー)>

使用電池の種類、形式、及び電圧	空気電池 PR41(312)1.4V
規 準 周 波 数	1600Hz
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値：118dB±4dBSPL ピーク値：122dB+3dBSPL 以下
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均：51dB±5dB ピーク値：57dB+3dB 以下
規準周波数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅：下限<200Hz,上限>5000Hz 規準利得：42dB
等価入力雑音レベル	18dB+3dB 以下
電 池 電 流	1.7mA 以下
全 高 調 波 歪	500Hz：<2%未満+3% 以下 800Hz：<2%未満+3% 以下 1600Hz：<2%未満+3% 以下
自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム：2ms 未満 ±5ms リリースタイム：10ms 未満 ±50%
誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	81dB±6dB
試験用ループに対 する等価感度 (ETLS)	0dB±4dB

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

HL 9010 miniRITE T, HL 7010 miniRITE T,
HL 5010 miniRITE T, HL 3000miniRITE T,
HL 2000 miniRITE T<イヤホン105(105スピーカー)>

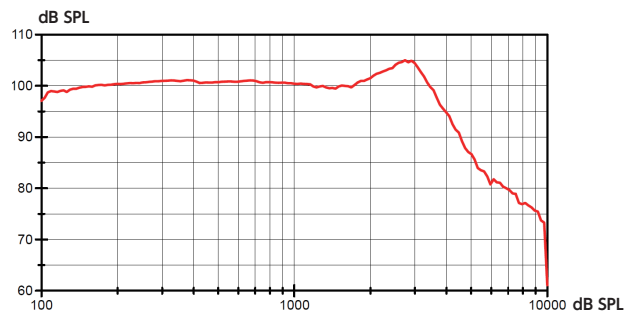
使用電池の種類、形式、及び電圧	空気電池PR41(312)1.4V
規 準 周 波 数	1600Hz
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値：122dB±4dBSPL ピーク値：126dB+3dBSPL 以下
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均：57dB±5dB ピーク値：63dB+3dB 以下
規準周波数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅：下限<200Hz,上限>5000Hz 規準利得：45dB
等価入力雑音レベル	16dB+3dB 以下
電 池 電 流	1.7mA 以下
全 高 調 波 歪	500Hz：<2%未満+3% 以下 800Hz：<2%未満+3% 以下 1600Hz：<2%未満+3% 以下
自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム：2ms 未満 ±5ms リリースタイム：20ms 未満 ±50%
誘導コイル入力 の最大感度レベル (HFA-MASL)	87dB±6dB
試験用ループに対 する等価感度 (ETLS)	0dB±4dB

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

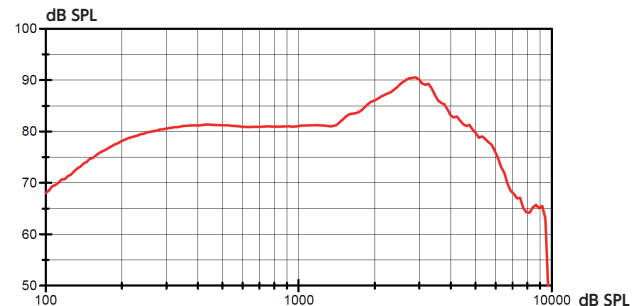
特性表

HL 9010 miniRITE T<イヤホン60(60スピーカー)>

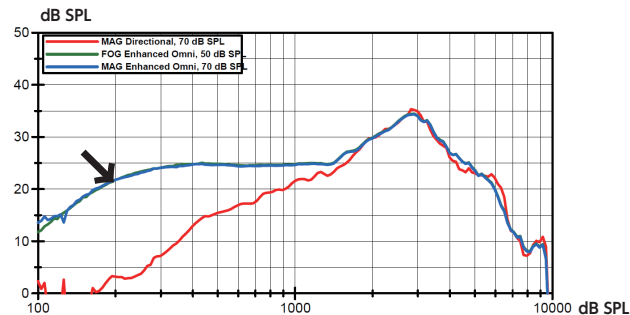
●90dB最大出力音圧レベル



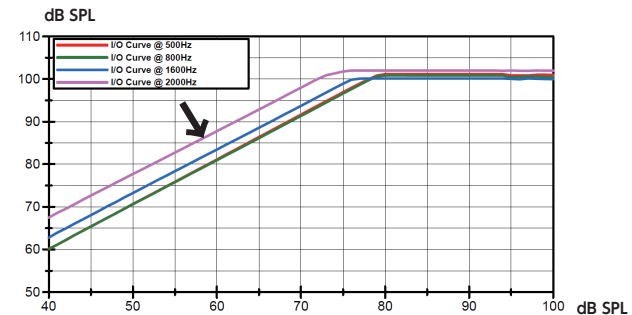
●周波数特性



●最大音響利得



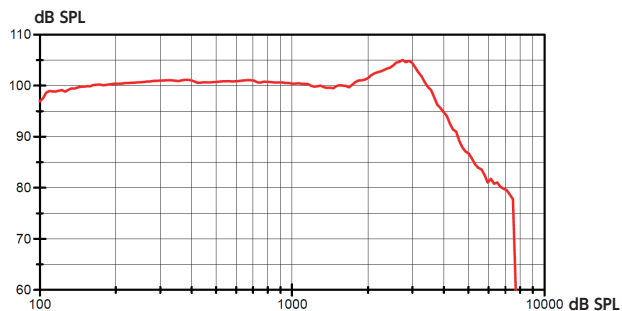
●定常状態入出力特性



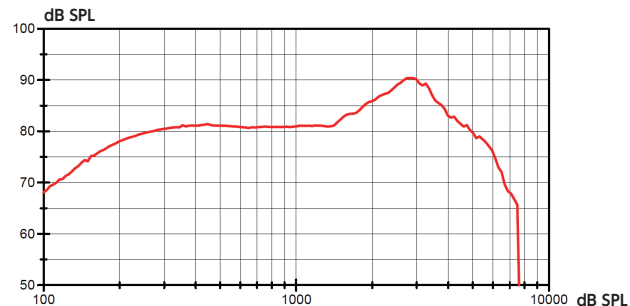
特性表

HL7010 miniRITE T , HL5010 miniRITE T ,
HL3000 miniRITE T , HL2000 miniRITE T
<イヤホン60(60スピーカー)>

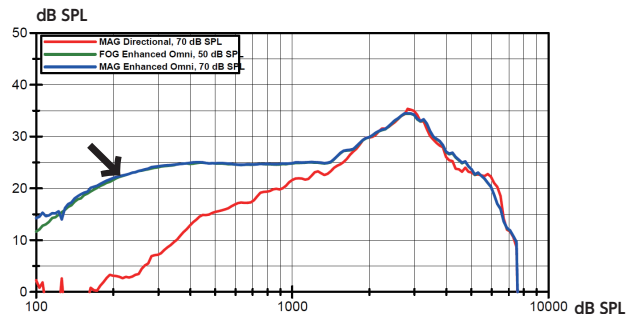
●90dB最大出力音圧レベル



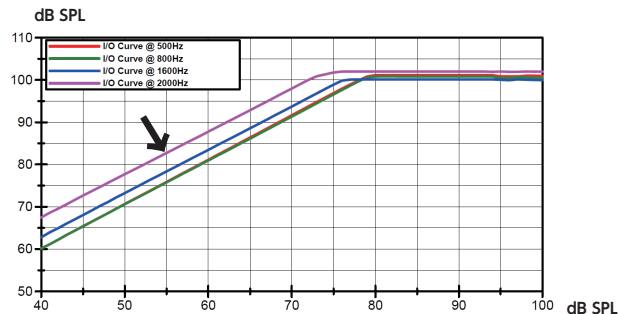
●周波数特性



●最大音響利得



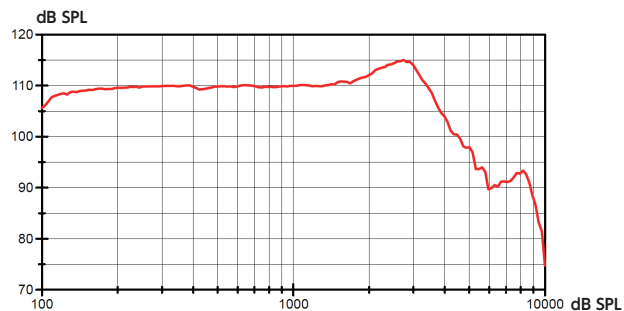
●定常状態入出力特性



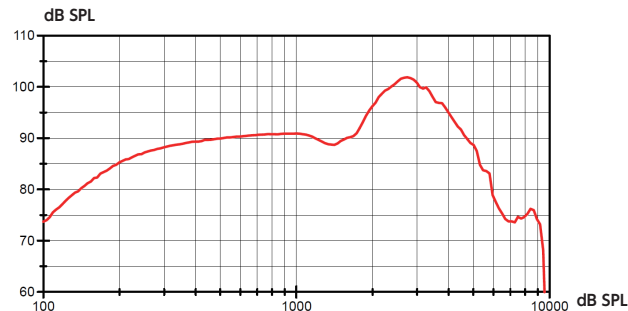
特性表

HL 9010 miniRITE T <イヤホン85(85スピーカー)>

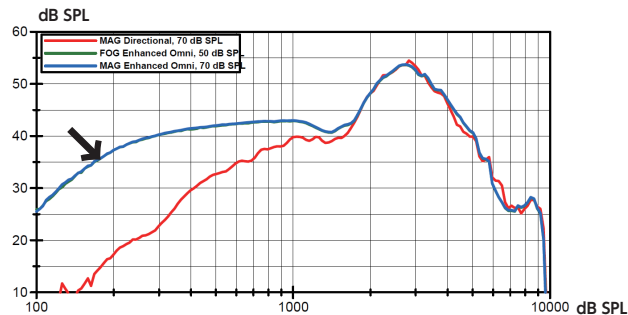
●90dB最大出力音圧レベル



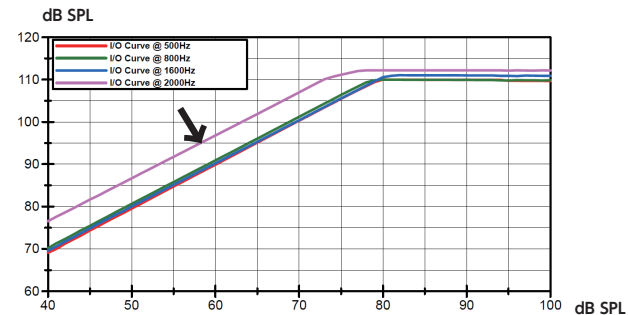
●周波数特性



●最大音響利得



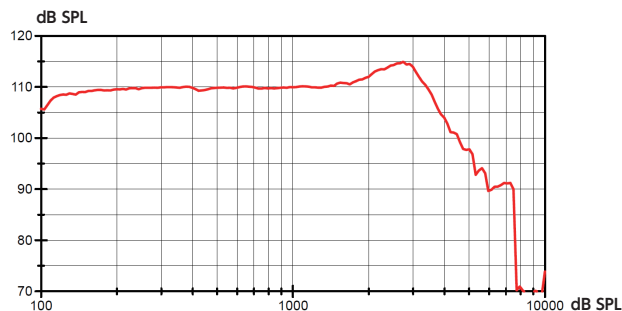
●定常状態入出力特性



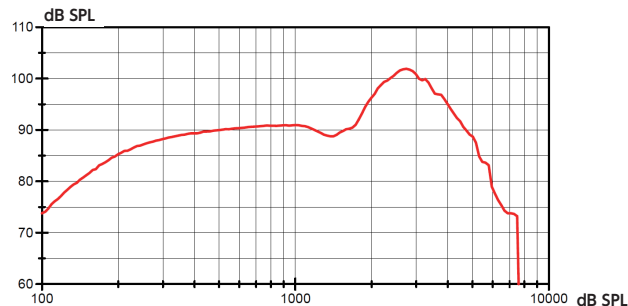
特性表

HL7010 miniRITE T , HL5010 miniRITE T ,
HL3000 miniRITE T , HL2000 miniRITE T
<イヤホン85(85スピーカー)>

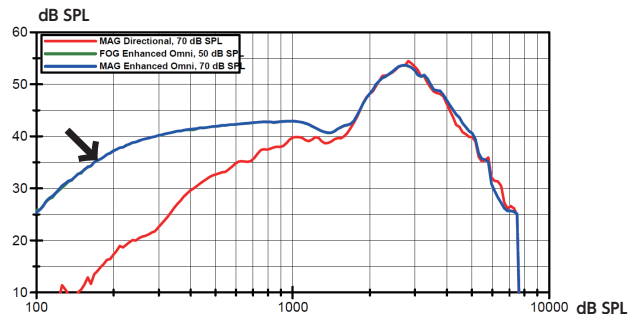
●90dB最大出力音圧レベル



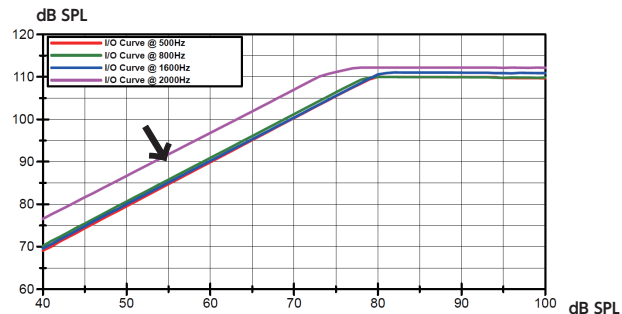
●周波数特性



●最大音響利得



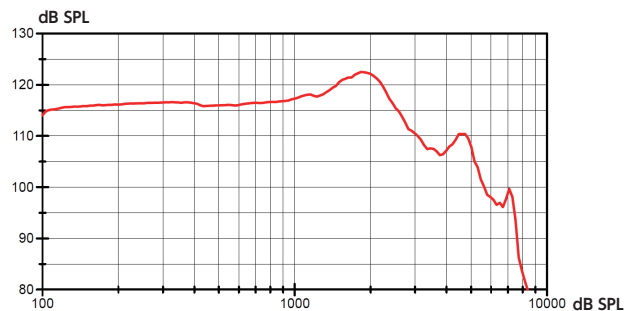
●定常状態入出力特性



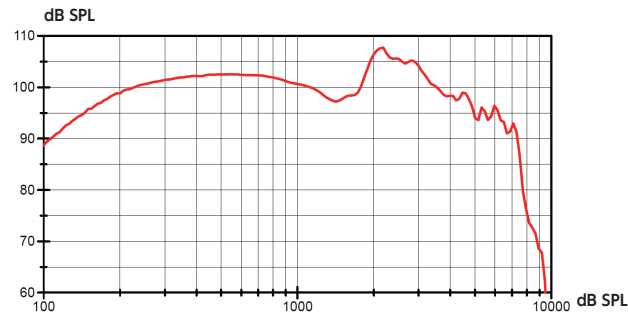
特性表

HL 9010 miniRITE T <イヤホン100(100スピーカー)>

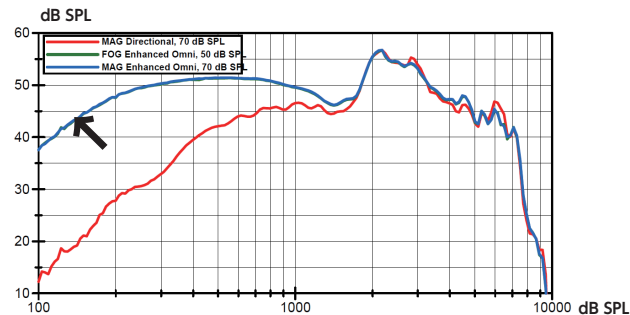
●90dB最大出力音圧レベル



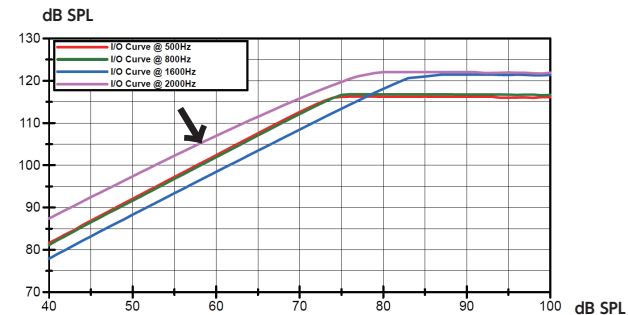
●周波数特性



●最大音響利得



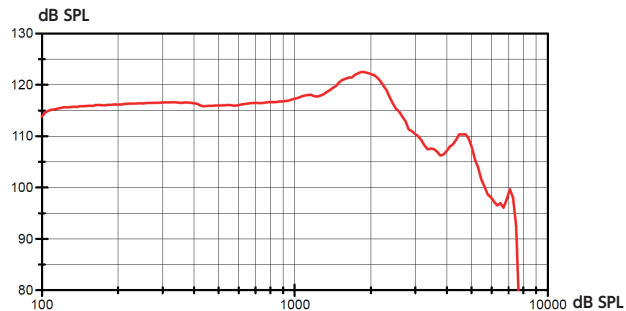
●定常状態入出力特性



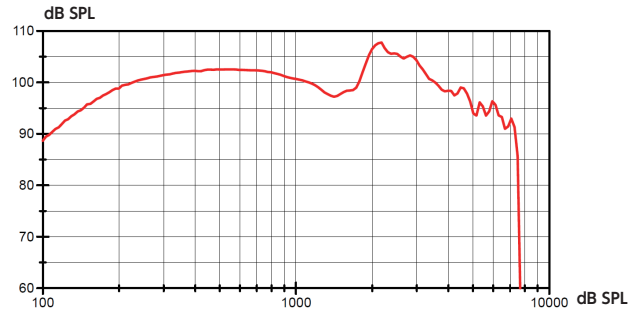
特性表

HL7010 miniRITE T , HL5010 miniRITE T ,
HL3000 miniRITE T , HL2000 miniRITE T
<イヤホン100(100スピーカー)>

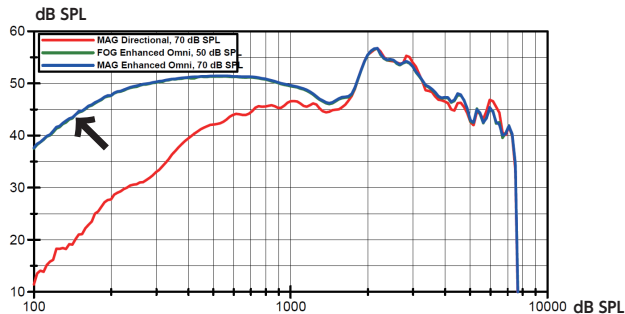
●90dB最大出力音圧レベル



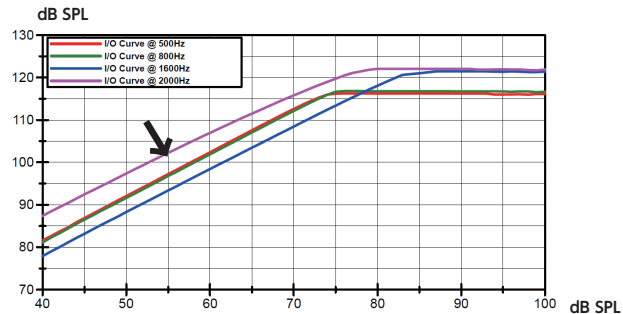
●周波数特性



●最大音響利得



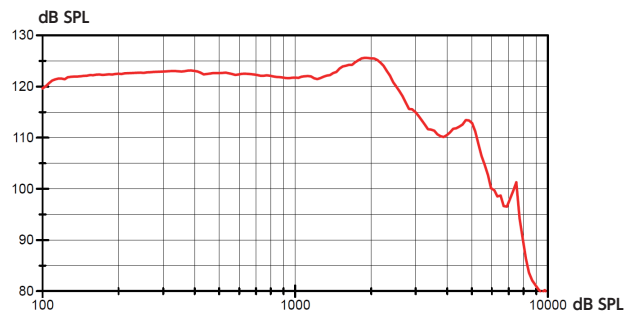
●定常状態入出力特性



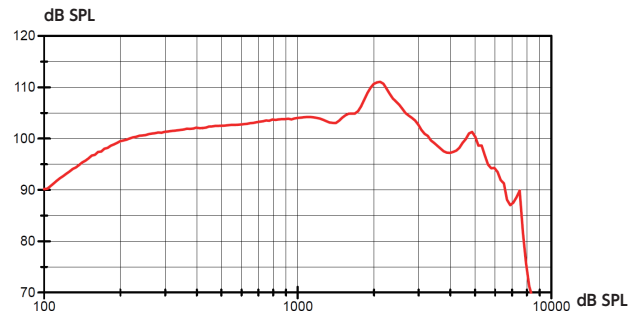
特性表

HL 9010 miniRITE T <イヤホン105(105スピーカー)>

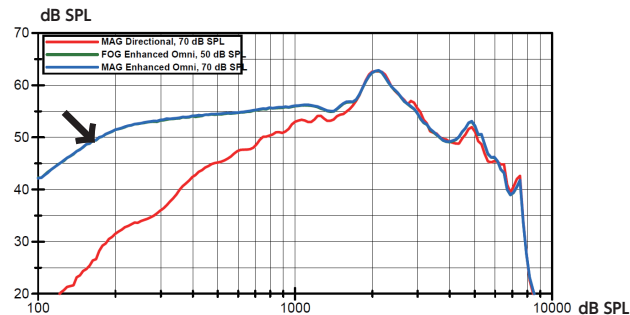
●90dB最大出力音圧レベル



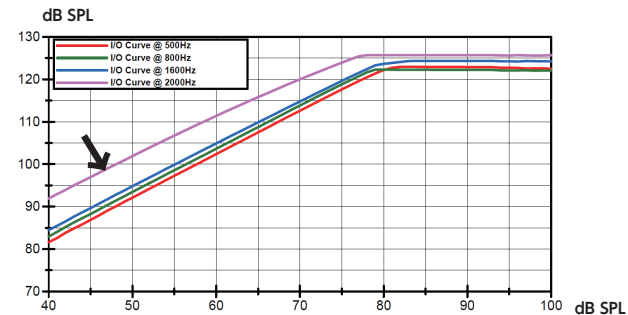
●周波数特性



●最大音響利得



●定常状態入出力特性

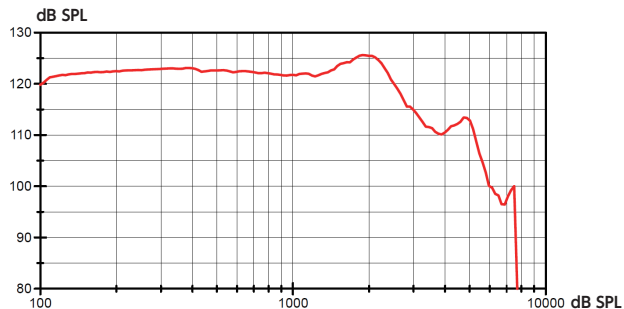


特性表

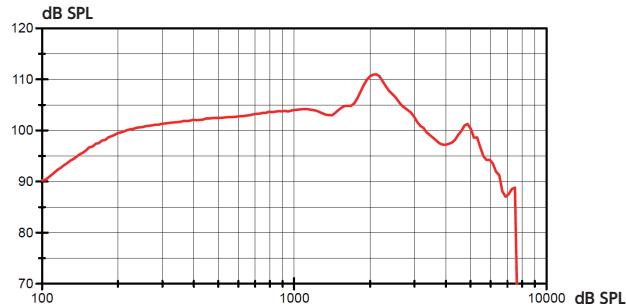
HL7010 miniRITE T, HL5010 miniRITE T,
HL3000 miniRITE T, HL2000 miniRITE T

<イヤホン105(105スピーカー)>

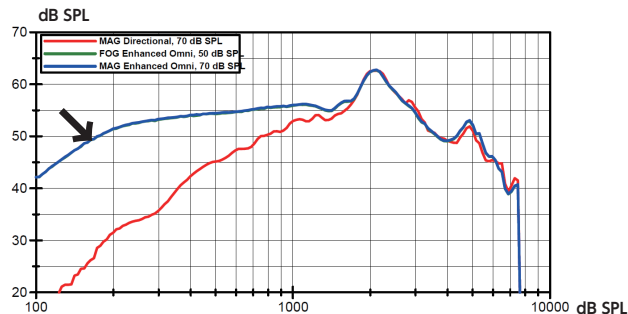
●90dB最大出力音圧レベル



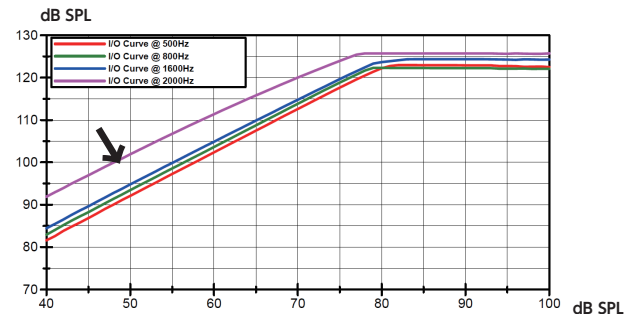
●周波数特性



●最大音響利得



●定常状態入出力特性



www.hearingsolutions.philips.com



Philips、Philips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。

製造販売業者：Audmet株式会社

一般的名称：耳かけ型補聴器

販売名：Hearlink 耳かけ型

認証番号：301AIBZX00007000